（資料2）＜高砂市文化振興審議会＞

各委員からの意見･質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問･意見	回答
資料1	14	1-1-2	学校教育課	俳句、短歌、古文の学習	俳句、短歌、古文の学習をする→これは学校教育課が事業として載せるものではなく、先生方が国語の教科書に取り入れられているものは、授業の中において、先生方が教科指導として授業すればよいだけのものではないか。学校でできない都合の悪い部分があるのかお聞きしたい。	「短歌、俳句、古文の学習」については、学習指導要領に基づき教師が国語科の授業の中で児童生徒に指導しています。教師は児童生徒の実態に基づき、教科書等を活用した授業を丁寧に行っています。
資料1	14	1-1-2	学校教育課	俳句、短歌、古文の学習	作品発表や成果報告をお願いしたい。	作品の発表等については各学校の授業実践の中で実施しているところです。
資料1	16 57	1-1-2 1-3-7	生涯学習課	放課後子ども教室	放課後子ども教室事業ですが、実施計画では４・５年度も継続になっていましたが、今回の資料では５年度以降は「―」となっていますが、理由は何でしょうか？ 子供が安全・安心して活動できる場の確保は必要に思うのですが。	事業自体は継続し実施いたしますが、施策の内容や方向性が文化振興方針からずれているため、計画から外す予定としています。
資料1	39	1-3-1	学校教育課	芸術鑑賞会、教育美術展、音楽会	小学校の芸術鑑賞会はどのようなものですか。	小学校においては、例年芸術家や劇団等の派遣による芸術鑑賞会を実施しています。児童が質の高い文化・芸術に直接触れられる好機となっています。また、全小学校において謡曲合唱団による謡曲「高砂」の授業を実施しています。
資料1	52	1-3-5	学校教育課	ALTの派遣	ALTの派遣→外国語指導助手として、年間49,302,000円を支出しているが、何人のALTで行っているのか。年間約5000万円ということは、2年間で1億である。多額の金額をつぎこんでいる事業に関しては、その成果をきちんと説明する必要があると思う。指導助手の主になる部分は何かというと、外国語の指導である点である。給食を一緒に食べるとか、休み時間の交流に重きを置くのではなく、あくまで、授業の中における外国語指導の成果という点をわきまえていただきたい。もちろん、従の部分も悪いとはとか、又必要ないとは言わないが、年間5000万円という税金は大金であるから、指導の仕方も徹底的に把握する必要があると考える。説明を要する必要があると思う。	ALTを高砂市立小学校・中学校に派遣することにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の素地となる資質・能力の育成を図っています。現行の学習指導要領においては、互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動が一層重視され、「話すこと・聞くこと」の技能の育成が求められています。ALTに対しては派遣会社が授業における指導力の向上に係る研修を行い人材育成を実施しているところです。教育委員会におきましても、指導主事が学校を訪問しALTの活動の様子を見ています。令和３年度は小学校に６人、中学校に３人の合計９人のALTを派遣しています。
資料1	73	2-1-5	文化スポーツ課	高砂ゆかりの人物の顕彰	工楽松右衛門を入れる必要があります。	令和３年度では工楽松右衛門に関する文化教室は実施ししておりません。今後の事業として、工楽松右衛門に関する文化教室の実施を検討いたします。

各委員からの意見・質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
資料1	148	3-3-2	各公民館	公民館使用料の減免	公民館使用料の減免事業ですが、３年度予定事業で３年度から廃止となっていました。３年度実施計画書では３年度以降も継続になり、今回の資料は３年度から予定事業に書かれている理由により廃止？になっています。 そこで、確認ですが、安易な減免適用はしないが、管理運営規則に基づいて引き続き適切に運用されるということは減免自体は適切な事業についてはされるというふうに考えて宜しいのですね。	公民館使用料の減免使用料は高砂市立公民館運営規則に基づいて引き続き適切に運営いたします。
資料1	168	4-1-3	文化スポーツ課	文化団体のコラボレーション	どのようなものをされているのですか。	「市美術展」において美術作品を背景にロビーコンサートを実施し、多くの来場者を呼び込んでおります。今年度はギターのコンサートを予定しております。
資料1	172	4-2-2	文化スポーツ課（国際交流）	姫路市との交流	現在でも高砂での活動を広報誌「ひめじ」で取り上げてくださっているのですか	ひめじ国際交流フェスティバルに参加した場合は、広報誌「ひめじ」で取り上げていただいておりますが、今年度は開催されませんでした。
資料1	174 175 179	4-2-3 4-2-4	文化スポーツ課（国際交流）		ラトローブ・デイ～国際交流バーベキュー～、国際交流バス旅行、国際文化交流会（国際交流講演会）は、令和３年度実施できたのですか	今年度は、新型コロナウイルスの影響で実施できておりません。
資料1	178	4-2-4	語学講座（韓国語、英会話）	日本人対象の語学講座	韓国人が多いのですか、韓国語希望の方が多いのですか	日本人の韓国語希望の方が多く、22名参加いただいています。
資料1	28 ,170	4-2-1	文化スポーツ課（高砂市文化連盟・各実行委員会）	東播磨文化団体連合会事業	県の予算が削減されています。ひっくるめてR4～6まで継続、継続、継続になっていますが、継続の下に、例（検討中）等を入れる必要があるのではないでしょうか。	県の予算について詳細事項が決定されておらず、資料には反映させておりません。 来年度以降の方向性が確定しだい、ご報告させていただきます。
資料1			教育センター	学習成果、作品展示スペースの設置、活用	3年度予定事業で、101 3-1-2教育センター担当で「学習成果、作品展示スペースの設置、活用」事業が新規で上がり、４・５年度継続となっていました。前回の３年度実施計画書では載っていなくてその時点で質問すべきでしたが、見逃していました。 どうなったのでしょうか。	令和３年度以降も、継続して実施しております。資料１の104番に記載いたしました。

（資料2）＜高砂市文化振興審議会＞

各委員からの意見・質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
資料1	18 166	1-1-2 4-1-2	文化スポーツ課 シティプロモーション室	子ども仕舞教室 高砂観月能	観月能の主催や広報の方法を教えてください。	高砂観月能の会（高砂神社社務所内）が主催しています。 高砂観月能子ども仕舞実行委員会（朝陽会館高砂教室係）が、仕舞教室を実施し、高砂観月能で披露しています。文化スポーツ課にて広報たかさごに募集記事を掲載しています。
資料1			文化スポーツ課		文化スポーツ課と協議をして、令和4年度文化連盟のロゴマークを作ることになっていました。それが項目にありません。	資料1の98（3-1-1）に追記いたしました。
資料1			文化スポーツ課		年間事業について、コロナ禍での実施状況など	次回審議会にて、令和3年度事業結果報告に合わせてご報告できるよう確認いたします。
高砂市公共施設全体最適化計画			公共施設マネジメント室		高砂市公共施設全体最適化計画において→建替の施設が、文化会館、市民病院、野球場、荒井公民館、高砂小、伊保小、曽根小、米田小、北浜小、高砂中、荒井中、松陽中、宝殿中、鹿島中、高砂児童学園と多数が2020年～2036年の最適化計画にあがっているが、高砂市の税収を考えると「大変だな」と思わず考えてしまいましたが、今民間においては、リフォームで強化並びに耐用年数をあげるということが行われているのであるが、高砂市においては、これらの施設の建替費用については、どのような対処法を考えておられるのでしょうか。ご説明をお願いいたします。	高砂市においては、高度成長期以降に集中的に整備されてきた公共施設が、２０３２年頃をピークに改修・更新時期を迎えようとしており、多額の費用が必要となると共に、少子高齢化の進展や社会保障費の増大から、公共施設を現在のまま維持することは困難になっております。 このため、２０１７年に『高砂市公共施設総合管理計画』を策定し、２０２１年には市民意見を伺いながら『高砂市公共施設全体最適化計画』を策定しております。全体最適化計画については、施設面、機能面の方向性を示し、施設の長寿命化も含めた、更新などの計画としております。 最適化計画では、意見に述べられているとおり、建替計画の施設が多数ありますが、当計画を基に、施設の最適配置と有効活用による、施設総量の縮減と地域活動や市民生活が充実する『縮充』を図り、また、財政負担の軽減と平準化を図り、持続可能な経営をおこなって参ります。 手法としては、改修や長寿命化工事の実施。建替えに関しては国の交付金や公共施設の更新等に充てられる地方債を活用し平準化対応する考えです。また、今後の施設更新のピーク時に対応するため、令和３年に基金を設立し積み立てを始めております。施設総量に関しては、建替えに併せて統合や集約も図り、計画では２０３６年に２０．７２％縮減の計画で進めて参ります。

各委員からの意見・質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
高砂市公共施設全体最適化計画			人権推進課		P15中筋老人憩いの家につきまして、2026年は維持、2036年自治会への譲渡を速やかに進める、しかし地域への移管ができない場合は廃止するとありますが、この移管できない場合とは、何を指しているのですか、又、地域の住民の方々は、納得されているのでしょうか。この文面では説明が必要かと思いますが、よろしくお願い致します。	中筋老人憩いの家につきましては、地域の集会所と同様に、建物は老朽化のため無償譲渡ができても、土地については無償譲渡ができないため、地域で買い取っていただく必要があります。この内容については、自治会長にお伝えしており協議を行っています。
高砂市公共施設全体最適化計画			文化スポーツ課		高砂市文化会館、文化保健センターがどのようになるのか教えてください	令和４年度に、文化保健センター１階跡地の施設活用について決定し、令和５年度に文化会館との統合、建替手法を計画する予定です。また、文化会館及び文化保健センターの建替までに１０年以上は必要であるため、施設を適切・安全に維持・運営していくために必要な修繕を行います。
高砂市公共施設全体最適化計画			公共施設マネジメント室		公共施設について、施設の築年数の古い建物が多くみれる中での、活用率などを鑑みて上手く統合や建替えの検討を行っていただきたい。 利用活用の仕方についても、市民の声を汲み取れる機会を作るなど、利用率などの統計データだけではない方法も必要かと。	高砂市においては、築年数の古い建物が多い現状です。活用率については、毎年公表している『施設カルテ』で、利用者数やコスト比較などのデータを取得し、示させていただいております。 こういったデータからは、数値的に示して比較することは可能ですが、意見に述べられているとおり、何故、利用率が低いのかといった意見の汲み上げはできません。意見聴取は、アンケートや直接の会話でいただくものと考えます。ですので、統合や建替え計画など、施設について考える際には、データの考察もおこない、意見交換会などを開催するなどしたうえで、計画を進めていきます。 取組としては、施設の稼働率を向上させるため、計画時に、施設の複合化や用途変更など活用の範囲を広げる取組を実施し、他の施設から機能を移転し、複合化、集約化するなど『縮充』を図っていきます。

各委員からの意見・質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
全般			シティプロモーション室		江戸初期城下町として、形成された高砂堀川周辺は、今でも歴史的建造物が多く残り、工楽松右衛門旧宅をはじめ、江戸初期の遺構から、江戸末期から明治時代にかけての建物群が密集してあります。赤穂市は赤穂浪士を中心とした歴史的景観都市として、周辺を総合整備し、倉敷市は歴史景観地区と飲食店、美術館等を複合させて、観光客を集めて、安定した人気を誇っています。 山口県の先崎に行きますと、近代的な金子みすゞ記念館と江戸・明治時代の佇まいをコラボさせ、観光客を集め、岩手県花巻市は宮沢賢治を大事にし、一大観光地化に成功しています。兵庫の有馬温泉では若旦那達（後継者）が、様々な遊び心の仕掛けをし、観光客を増やしています。 　私は北海道に８年間ほど住んでいましたが、小樽市は最初、ガラス工芸があるものの”小さな観光地”でした。ところが女性が好む小さな店ができだし、それが急速に増えていき、今では兵庫県のスキー修学旅行でもコースに加えるほど一大観光地になっています。 　高砂市も観光地化する要素を備えています。そう成り得るためには、いくつかの要素が必要と考えています。 ＜必要と考える要素＞ １．高砂堀川周辺をまず、高砂市の重点歴史観光地として開発し、モデルケースとする。 ２．高砂市全域の歴史資料館を高砂町内に建設し、運用する。 ３．駐車場を堀川荘跡やセイユー跡地に作る。大型バスが停まれるようにする。 ４．フィッシングセンターを改装し「みなと町高砂・海の駅」を作る。 ５．高砂川・南堀川が浅くなって、干潮時には、大型の観光船が入りにくくなっている。 　浚渫作業をする。 （観光客が来るようになってから） ６．土日祝に山電高砂駅から、工楽旧宅まで午前１回、午後１回マイクロバスを出し、送迎する。	１への回答 　現在、高砂市観光交流ビューローでは日本遺産にも認定された高砂町の歴史的景観形成地区並びに日本史跡の認定を受けている「日本三奇」のひとつである生石神社「石の宝殿」を市内観光の重点地としてPRと誘客推進をすすめており、高砂市も同様に支援をおこなっています。特に高砂地区においては、ひょうご観光本部が進める「体験型、周遊滞在型コンテンツ」開発事業により高砂町の町歩き事業の旅行商品化を進めています。また、古民家を利用したカフェなども増えてきており、近頃では女性の方々も多く来ていただくようになってきています。 2.への回答 　現在高砂市には歴史資料館がなく、工楽家旧宅を利用し高砂市内の歴史に関する特別展などを実施しています。令和3年度においても「渋沢栄一と高砂展」「棟方志功の版画展」などを開催し多くの方々に高砂市の歴史を見ていただく機会を作っています。また、生石神社参集殿を利用した「浮石資料館」をオープンし、古代から採掘が続く竜山石の歴史や石の宝殿、日本三奇などのガイダンス施設として活用しています。 ４・５への回答 　堀川の利活用については民間団体「海文化２１C」と高砂市観光交流ビューローが連携し、ヨットで堀川クルーズを体験するイベントとして月1回のペースで利用していますが、現状は堀川が県の港湾施設として県の条例上では人の乗り降りのできない港湾施設に該当しているため、それらを利活用できるよう現在県民局と協議を進めているところです。これまでに、民間団体によりパイロット事業として堀川から洲本市、堀川から赤穂市(坂越)に船で行くイベントを２度開催しています。

（資料2）＜高砂市文化振興審議会＞

各委員からの意見・質問一覧表

審議会資料頁	一連番号	施策番号	担当課（主催）	事業の名称	質問・意見	回答
全般			文化スポーツ課		高砂市公共施設全体最適化計画ですが、もう少し早く進めないと人口との関係等も考慮していくと大変ではないかと思いました。 　目指す姿“文化を大切にし、ふるさとを愛する人が集うまち高砂”を実現するために何をするのか、審議会がどうあるべきなのか公募委員としてどう貢献していくべきか、意見・気づいたことはできるだけ意見書にまとめて提出していますが、ここ何年か悩んでいます。出されてきた事業について質問するだけでは、実際のところ目的からするとあまり貢献していないような気がします。 　個人的には、「夢の代」補助金に、謡曲高砂・竜山石（石の宝殿）・松右衛門帆の３本柱部門をつくり、予算をもう少しかけ、市民力アップにつなげられるようになれば良いなぁと思います。 謡曲高砂は謡曲を広めるだけでなく、縁を結ぶ（謡曲高砂→ブライダル都市→縁を結ぶ）事業も含めてやってほしいと思いっています。 このような話（提案）をしていける審議会にならないと事業実施が大体一緒という中で、委員としての役割が薄れてきているように感じます。 良い提案もできないのに生意気な発言で申し訳ありませんが、少しマンネリを感じています。	高砂市公共施設全体最適化計画につきましては、公共施設等総合管理計画（計画期間：平成２９年度から令和１８年度）のうち、公共施設にかかる整備計画を示したもので、公共施設等総合管理計画の中間見直し年度（令和８年度）に合わせ、前期６年間を「第１期全体最適化計画期間」と位置付けたうえで、同年度に第２期計画策定に向けた諸調査を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。 夢の代補助金につきましては、市民の参画と協働により、市民の主体的な地域まちづくり活動の活性化を目指すことを趣旨としており、文化施策に特化した部門の新設は困難であります。 謡曲高砂の普及啓発につきましては、他部署とも連携のうえ検討してまいります。 委員のみなさまからのご指摘、ご提案等の内容につきましては、今後も全庁横断的に連携し、その反映に努めてまいります。
その他			文化スポーツ課		市民にアンケートを取られたとのことですが、どのようなものですか。	平成25年3月に策定した文化振興基本方針に基づく進捗状況調査及び令和４年度に策定予定の文化芸術推進基本計画の基礎情報として、無作為に抽出した市民（18歳以上の男女1,000人）に対し文化施策に対する意識調査を現在行っています。 アンケートについては資料３にお示ししております。 また、アンケート集計結果につきましては集計が完了次第ご報告いたします。